

2. 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

子どもと保護者への取り組みの充実

子どもにとってあらゆる機会を通じて本に接することは、読書の楽しさを知るうえで大切です。豊中市では、図書館の他に子どもの読書に関わる事業を行う施設が多くあります。各施設はそれぞれの特色を活かしながら、読書に関連した催しを行っています。今後第1期実施計画の実績をふまえ、これらの取り組みをさらに充実し、子どもと保護者が本に親しむ機会を広げます。

	対象			事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容	
20	乳幼児	小中学生	15才以上	大人	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」	○市立図書館 健康支援室 豊中子ども文庫連絡会	継続	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3カ所の会場で行う。絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等を配布する。また健診未受診者へ「えほんはじめまして」の資料を配布するなど、状況に応じて働きかけを行う。 〔123にも掲載しています。〕
21					乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」 年齢別ほっとタイム「うきうきタイム」	子育て支援センター	継続	「ほっとタイム」ではプレイルームに来館した0歳～就学前の子どもと保護者を対象に、あそびを提供し、気軽に参加してもらい、子ども同士や保護者同士の仲間作りの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。またこれらの事業を年齢別に行う「うきうきタイム」もあわせて実施する。
22					親と子の遊びのひろば「パンダグループ」 「こぐまグループ」	子育て支援センター	継続	「パンダグループ」では2・3歳の子どもとその保護者を対象に、あそびや情報の提供をする中で保護者同士が子育ての楽しさを実感したり、悩みを出し合い、地域の中でつながる機会となっている。また「こぐまグループ」は1歳6か月から2歳未満の子どもと保護者を対象に遊びや情報提供を行っている。これらの取り組みの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。
23					「出前講座」	子育て支援センター	継続	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊び提供の場での読書活動(絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等)を推進する。
24					「センター講座」 「ほっぺ講座」	○子育て支援センター 市立図書館	継続	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。各センターの講座に参加することで職員の研修として活用する。また課題などについてセンター間で情報を共有し、事業点検を行う。
25					「子育て総合支援事業」	幼児教育支援センター たんぼぼ	継続	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園(7園)実施
26					フリースペース	幼児教育支援センター たんぼぼ	継続	就学前の親子を対象に週2回、親子でくつろげる場を提供する。また、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行う。

	対象				事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
27					親子たんぽぽ体験教室	幼児教育支援センターたんぽぽ	継続	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。(てしま幼稚園としんでん幼稚園で実施)
28					図書貸出し	幼児教育支援センターたんぽぽ	継続	幼児教育支援センターたんぽぽに図書スペースを設置し、フリースペースの参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。
29					情報相談	すてっぷ	継続	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。
30					お父さん・おじいさんへの働きかけ	すてっぷ	継続	お父さんへの家事参加を働きかける講座に、絵本を紹介し親子での利用につなげる。
31					お父さん・おじいさんへの働きかけ	市立図書館	継続	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う
32					子育てグループ活動への支援	公民館	継続	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。
33					啓発講座	すてっぷ	継続	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。
34					保護者向け講座の開催	公民館 公民分館	継続	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。
35					おはなし会	すてっぷ	継続	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。
						豊中人権まちづくりセンター	継続	子どもたちが生活の一部として利用している児童館の中でおはなし会を開き、本やお話に親しむ機会ときっかけを作っていく。
						庄内少年文化館	継続	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。
						子育て支援課	継続	放課後こどもクラブの活動の一環として、ボランティアによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。
36				図書館訪問	子育て支援課	継続	放課後こどもクラブの校外活動の一環として、図書館を訪問し、子どもたちが本を読んだり図書館が開催するおはなし会に参加しておはなしに親しむ機会をつくる。	

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
37		図書リストの配布や子どもへの学習相談	〇すてっぷ小・中学校関係施設	継続	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校司書や教員を通してのレファレンスに応じる。

子どもの本や読書に関する情報提供

子どもに関する施設では、講座などの催しや施設が作成するリーフレットを利用して、本や子どもの読書に関する情報を提供しています。今後、各施設で行われる行事などの情報を施設間で共有し、活用することで、さらに子どもと保護者が読書に親しむ機会を広げます。

◆〈全体的な取り組み〉(4ページ)をご参照ください。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
38		子育て教室	公民館	継続	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。

読書環境の整備

豊中市では、子どもに関わる施設に独自の図書室や図書コーナーが多くあります。新規購入や市立図書館の団体貸出サービスなどを利用して、子どもにとって魅力ある場をつくり、身近に本と接することができる環境を整えます。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
39		絵本コーナーの充実	健康支援室市立図書館	継続	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。
40		絵本コーナーの充実	子育て支援センター	継続	絵本コーナーの充実、貸出し等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境をより充実する。
41		読書環境の充実	すてっぷ	継続	すてっぷの情報ライブラリーの絵本や児童書を充実し、大人も子どもも身近に絵本と親しむことができるようにする。
42		絵本コーナーの充実	公民館	継続	図書館と連携し、公民館のロビーや保育室にある絵本コーナーを充実する。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
43		図書室・図書コーナーの充実、本のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取り組み	蛭池人権まちづくりセンター	継続	これまで分類上は「図書室・図書コーナーの充実」のみであったが、子育て交流広場での読み聞かせ、絵本を通して子育てを振り返るおはなし会、友達との調べ物、物語から自分を振り返る人権学習など本に関わった取組みが増えているので、これらを前面に出して読書への関心へとつないでいく。
		図書室・図書コーナーの充実、本のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取り組み	豊中人権まちづくりセンター	継続	団体貸出の利用と保護者等からの絵本のリサイクルにより、図書コーナーの充実を図る。また、本に囲まれた環境の中で学習室としても活用を増やすなど、子どもが本を身近に感じる環境作りをしていくために壁装飾の取替えを学期ごとに行うことを企画していく。
		図書室・図書コーナーの充実	すてつぷ	継続	資料の新規購入や団体貸出の利用により、各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。
		図書室・図書コーナーの充実	庄内少年文化館	継続	資料の新規購入や団体貸出の利用、また一般市民からの寄贈本やリサイクル本などの活用により図書コーナーの充実を図る。また、子どもが身近に本と親しむことができる環境づくりのために表示板の作成や壁面構成に努めている。
		図書室・図書コーナーの充実	子育て支援課	継続	資料の新規購入や団体貸出の利用により、放課後子どもクラブなど各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。
44		図書コーナーの充実	すてつぷ	継続	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。
45		見学・交流会	図書館	継続	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の訪問や見学を行い、図書館サービスに関する情報提供を行う中で、必要な支援、連携を実施する。
46		本のある居場所づくり	青少年課 市立図書館	継続	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

子どもに関わる施設では、子どもの読書に関する行事が行われ、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しています。これらの情報を施設間で共有し、活用することが必要です。そのために、市立図書館を含めた施設間で、子どもの読書についてのネットワーク作り⁴⁾に取り組み、情報交流や連携事業を進めます。

◆〈全体的な取り組み〉(4ページ)をご参照ください。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

子育て支援センター、放課後こどもクラブ、人権まちづくりセンター、少年文化館、男女協働参画推進センター
すてっぷでは、職員やボランティアの協力による、おはなし会を行っています。こうした活動を支援するために、
子どもの本に関する情報や学習機会を提供し、子どもが本に親しむ機会を広げる取り組みを進めます。

	対象	事業名	関係部 局・団体	区分	取組の内容
47		子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て支援センター	継続	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居などを行うボランティア活動を育成・支援する。
48		出前おはなし会	すてっぷ	継続	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの登録団体が読み聞かせを実施する。
49		研修の機会の提供	すてっぷ	継続	登録団体の活動を支援するため学習の機会を提供する。
50		情報の提供	公民館	継続	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。

子どもに関わる大人への啓発と研修

子どもに関わる施設では、子どもと保護者が本に親しむ機会を提供しています。これらの取り組みを充実するために、子どもの読書の意義や大切さについて、理解と関心を深める研修を行います。

	対象	事業名	関係部 局・団体	区分	取組の内容
51		職員研修	市立図書館 職員研修所 関係施設	継続	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中での読書の大切さを理解するための研修を行う。 [158をご参照ください]
52		指導員研修会	子育て支援課 市立図書館	継続	放課後こどもクラブのおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取り組みを行う。